

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表: 令和6年3月20日

事業所名 こばんはうすさくら富士宮教室

保護者等数(児童数) 31 (34)

回収数 28

割合 90 %

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	24	3	0	1	・人数が増えると狭さは感じる。	活動内容や利用者数により使用する部屋や場所を考えていきます。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	22	1	0	5		お子様の自立・成長を目指して、適切な職員数を配置しています。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	20	4	0	4		お子様が使いやすいように環境整備を行っています。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	27	0	0	1		
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	26	1	0	1	・いつもいろいろな活動をしていて、子どもも楽しめている。	利用者様が楽しく、興味をもって取り組めるように工夫しています。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	12	2	2	12	・例えばどのような交流があるのか知りたい。	放課後児童クラブや児童館との交流の機会を検討し、保護者様にも周知してまいります。
保護者 への 説明 等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	28	0	0	0	・一日の様子を教えてください。	支援の内容や利用負担等について、見学時や契約時に丁寧に説明しています。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	28	0	0	0		
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	26	2	0	0		
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	20	4	1	3		定期的に保護者参観や保護者交流会を開催し、保護者同士が話す機会を設けています。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	22	6	0	0		利用者様や保護者様からの苦情があった場合には、迅速・適切に対応しています。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	24	2	1	1	・声掛けは多くされている。	利用者様とは積極的にコミュニケーションを取るよう努めています。保護者様ともリトムや送迎時の話し合いを通して共通理解を図っています。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	25	3	0	0		
14 個人情報に十分注意しているか	26	1	1	0			
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	28	0	0	0		
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	27	0	0	1		
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	26	2	0	0	・外部との交流(社会勉強)を楽しみにしている。	利用者様が楽しく通えるように活動内容をさらに工夫していきます。
	18 事業所の支援に満足しているか	25	3	0	0	・お休みの連絡をLINEやアプリでできたら嬉しい。 ・オムツの処理をしてもらえるようになると嬉しい。	保護者の皆さんに満足していただけるような支援・運営ができるようさらに努めていきます。

436 34 5 29

87%

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和6年3月20日

事業所名 こぱんはうすさくら富士宮教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	13	0		
	2	職員の配置数は適切である	12	1	利用者様の自立・成長を目指して、適切な職員数を配置しています。	活動内容や利用者数により配置する職員数を調整していきます。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	11	2	トイレを広くし、手すりも設置しています。	利用者様が使いやすいように環境整備を行っていきます。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	13	0	各教室の職員が参加する支援者会議において目標設定を行っています。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	13	0	各種のアンケートから保護者様の意向を把握し、職員で改善策を話し合っています。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	13	0		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	13		第三者評価は行っていませんが、自己評価の結果をもとに業務改善を図っていきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	13	0	全職員に研修の機会を設け、研修後には研修報告をしています。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	13	0		
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	13	0		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	13	0	当番制でプログラム案を考え、全職員で話し合っていて考えています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	13	0	利用者様の興味や課題、季節に合わせて活動案を考えています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	13	0	休日や長期休業などはイベントや外出等のプログラムを取り入れています。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	13	0		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	13	0	朝礼後に活動内容や役割分担を確認しています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	12	1	終礼でその日にあったことを伝え合っています。	支援終了後に、支援に入った職員間で振り返りをするようにしていきます。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	13	0	個々に成長した点や課題を記録しています。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	13	0		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	13	0		

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	13	0		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	13	0	保護者様を通して必要な情報を得ています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	13	0	保護者様を通して必要な情報を得ています。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	12	1		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	0	13		現在は該当者がいませんが、該当者がいる場合には情報提供をしていきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	12	1		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	5	8	児童館や公園等に出掛けて交流しています。	放課後児童クラブや児童館との交流の機会を検討していきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	13	0		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	13	0	リズムでやり取りをしたり、自宅への送迎時に保護者様と話をしたりしています。	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	13	0	個別支援計画の更新時以外にも随時保護者様の相談に応じています。	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	13	0		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	13	0	保護者様からの相談があれば丁寧に話を聞き、必要な助言を行っています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	13	0	保護者交流会を年2回行っていきます。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	13	0		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	12	1		
	35	個人情報に十分注意している	13	0	個人情報に関することは複数の職員で確認しています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	13	0		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	10	地域住民への行事(プール等)の挨拶をしています。村山人参掘りなど地域のイベントにも参加しています。	地域住民に参加してもらう機会を検討していきます。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	11	2	緊急時対応マニュアル等は掲示しており、職員がすぐに見られるようにしています。	職員が緊急時対応マニュアル等への理解を深め、実践につなげていきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	13	0	避難訓練は毎月実施しています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	13	0	市役所の職員に講話をしてもらったり、虐待防止の研修を受けた職員が虐待防止チェックリストを使用して全職員に伝達したりしています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	13	0	職員内で確認し、契約時に丁寧に説明しています。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	13	0	保護者様に医師の指示書を提出してもらい、それに基づいて対応しています。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	13	0	ヒヤリハットがあった場合には記録して、終礼や朝礼で共有しています。	